

## 2011年 1 月中のサーキットブレーカー ( CB) の運用について

2011年 1 月中における CBの当初値幅および CB発動時の運用については、次のとおりとする。

### 1 . CBの当初値幅等について

商品名	当初値幅 ( 拡大値幅 )
とうもろこし	1,000円
一般大豆	2,000円
Non-GMO大豆	2,000円
小豆	350円
アラビカコーヒー生豆	1,200円
ロブスタコーヒー生豆	1,200円
粗糖	2,400円

### 2 . CB発動時の運用について

#### ( 1 ) 小豆を除く商品の運用

1 回目及び 2 回目の CBが発動したときは、CB発動時刻から 5 分間立会を中断し、また、立会再開時は CB幅を拡張し、立会を開始する。  
直前の CB幅に拡大値幅を加算した幅とする。

例：とうもろこしの場合

$$\begin{aligned} 1 \text{ 回目の CB発動後} &= 1,000\text{円 ( 当初値幅 )} + 1,000\text{円 ( 拡大値幅 )} = 2,000\text{円} \\ 2 \text{ 回目の CB発動後} &= 2,000\text{円 ( 直前の CB幅 )} + 1,000\text{円 ( 拡大値幅 )} = 3,000\text{円} \end{aligned}$$

3 回目以降の CBが発動したときは、CB幅を拡張せず( 例：とうもろこし 3,000円のまま )、CB発動時刻から 5 分間中断した後、立会を開始する。  
ただし、本取引所が必要と認めるときは、中断時間及び拡大値幅を変更することがある。

#### ( 2 ) 小豆の運用

1 回目の CBが発動したときは、CB発動時刻から 5 分間立会を中断し、また、立会再開時は CB幅を拡張し、立会を開始する。  
直前の CB幅に拡大値幅を加算した幅とする。

$$1 \text{ 回目の CB発動後} = 350\text{円 ( 当初値幅 )} + 350\text{円 ( 拡大値幅 )} = 700\text{円}$$

2 回目以降の CBが発動したときは、CB幅を拡張せず ( 700円のまま )、CB発動時刻から 5 分間中断した後、立会を開始する。  
ただし、本取引所が必要と認めるときは、中断時間及び拡大値幅を変更することがある。